

山形県 戸沢村

豊かな自然に四季のかおりと舟唄のこだまする村をつくろう

# とざわむら 議会だより



いきいきランドぽんぽ館リニューアルオープン祝賀会

2021 No. 138

2020年12月定例会

2p 12月定例会 補正予算2億300万円を可決 総額52億9600万円

3p 補正予算Q&A みんなの請願・陳情 常任委員会報告

4~10p 一般質問 村政を問い直す！ 6議員登壇

11p 議員発議 議会日誌(10月~12月)

12p 地域の歳時記 表紙の言葉・編集後記

# 補正予算 2億300万円を可決

令和2年  
12月  
定例会

12月定例会は12月9日から11日までの3日間の会期で行われた。議案は令和2年度一般会計補正予算1件、特別会計補正予算5件、条例の設定1件、条例改正6件、工事請負契約の変更2件、契約締結1件、人事案件1件、規約変更1件を審議し、全議案を可決した。一般質問には6議員が登壇し、最上地区広域連合、空き家対策、鳥獣被害抑止、人口減少問題、高齢者児童虐待、職員体制の改善状況等々、広範な内容により議論が交わされた。

## 議案の主な内容

### ◎令和2年度

#### 一般会計補正予算

一般会計補正予算は、歳入歳出予算の総額に、それぞれ2億300万円を追加し、歳入歳出の総額を52億9600万円とする補正予算を可決しました。

#### 歳出の主なもの

##### ・総務費

測量設計委託料  
旧古口小学校敷地内に宅地造成を計画しており、そのための測量設計を行うため1100万円を予算化。

##### 指定管理委託料

ぼんぼ館運営に係る委託料を3520万円増額。

##### 工事請負費

ぼんぼ館内のプール、脱衣所、トイレ等の工事を行うため1800万円増額。

##### ・民生費

保育所児童館費報酬費  
コロナ慰労金のため、170万円を予算化。

##### ・商工費

新型コロナウイルスの影響により、経営に支障をきたしている中小企業を支援するため、村中小企業緊急災害等対策利子補給金146万7千円を予算化。

##### ・土木費

持家住宅整備促進事業

費補助金を100万円増額。

##### ・消防費

避難所内でのコロナウイルス感染症対策として、パーティション、ドームテント等の原材料費を1600万円増額。

##### ・教育費

コロナ禍における避難所施設整備を目的に、戸沢中学校柔道場の換気システム工事に3700万円を予算化。

## 条例設定・改正

○戸沢村議会議員及び戸沢村長の選挙における選挙運動の公営に関する条例

新たに設けられた条例です。条例が設定された

ことで、今後、村長選挙及び村議会議員選挙の際の、選挙運動用自動車、ポスター、ビラに係る経費が公費にて賄われます（上限額あり）。また、村議会議員選挙には供託金が導入されます。

○戸沢村立学校設置条例の一部を改正する条例

義務教育学校を設置するため条例が改正されました。小学校、中学校の区切りを減らし、義務教育期間9年間の学習を総合的に考えることが可能となります。令和3年4月1日からの施行で学校の名称は戸沢村立戸沢学園となります。

○戸沢村いきいき100年の里の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

ぼんぼ館内の施設内容名称の変更と、利用料金の上限額が改正されました。条例の上限額の範囲内で戸沢村産業振興公社が料金設定を行うこととなります。

○戸沢村教育施設の使用

に関する条例の一部を改正する条例

戸沢村立戸沢学園、戸沢村中央公民館の各施設の使用料等が改正されました。施設使用料と電気料を統一し、1時間ごとの使用料区分になります。

○戸沢村生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

条例の改正により、施設使用料と電気料を統一し、1時間ごとの使用料区分になります。

○戸沢村若者総合施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

条例の改正により、施設使用料と電気料を統一し、1時間ごとの使用料区分になります。

## 人事

○議会の同意により、教育委員1名が再任されました。

荒川 香菜子 委員  
(名高地区)

**補正予算Q&A** 補正予算について議員からの質問と回答です。

**Q** 税の徴収業務、大変努力されており。収納対策委員会の開催状況と、村税の昨年対比を伺います。  
**A** 収納対策委員会は5月と11月に開催しています。村税は昨年度対比で1700万円減収の見込みです。入湯税は半減しています。  
**Q** ほんぼ館の指定管理委託料3520万円が補正として計上されている。丁寧な説明をお願いしたい。  
**A** 誘客、地域の活性化、住民サービスの向上を目的としています。  
**Q** 水防防災費の1600万円、その使途は。財源は国からの交付金か。  
**A** 備蓄品です。避難所のパターション、消毒用品などです。コロナ対策です。国からの交付金を活用します。  
**Q** 学校管理費の工事請負費についてです。当時の設計に問題があつて、工事が必要になつたのではないか。それならば業者の補償として行うべきでは。  
**A** 中学校柔道場床ピットには水はたまっています。この度の工事は特に夏季の避難所の空調換気を目的としています。今後、施設管理を定期的に行います。

**常任委員会報告**

**産業建設常任委員会**

村道認定と整備について、12月10日、審査するために向名高地地区にある土地改良区が管轄する鞭打野陽水機に通ずる長さ130mの農道を確認しました。

地域住民や施設利用者の利便性を図るため、採択しました。

他にも住民が不便とする村道や県道・国道そして、通学路等の歩道が改善するように努めたいと思います。

委員長 阿部 光樹

**総務文教常任委員会**

令和2年12月10日、全議員、村長、副村長、教育長、共育課職員が戸沢小中学校を訪問し、全生徒に配布されたタブレットの利用状況を視察しました。学習内容をよく理解し、より豊かな学びにしていけることを目的に導入されたものです。これまで他校の児童とのオンラインによる交流を図るなど有効に活用され、コミュニケーションを図るツールともなっています。

タブレット購入契約は、令和2年第4回戸沢村議会臨時会により承認されています。

委員長 柿崎 英矢

**戸沢村議会・執行部行政懇談会**

令和2年12月15日、全議員、村長、副村長、教育長、全課長が出席のうえ、行政懇談会を開催しました。はじめに山形財務事務所所長木村財務課長より戸沢村の財務状況をご説明いただきました。村の借金にあたる地方債残高割合が県平均を上回っており、今後の財政運営のかけ取りが大切な時期を迎えていると講話をいただきました。その後、

各課より重要施策について説明があり、議会との情報交換、質疑応答が交わされました。

成人式の開催時期、河川の土砂撤去、村営住宅の維持管理、田の適正管理、養豚場からの無償堆肥、ふるさと納税重要施策化、農地再生、豪雨時交通網の確保等々、執行部の対応方針を確認しました。

**みなさんの**

**請願・陳情**

**◇村道認定と整備についての請願**

提出者 向名高地地区会

会長 富澤 安雄

向名高地内にある戸沢村土地改良区が管轄する鞭打野陽水機に通ずる長さ130mの土地改良区農道を村道認定していたが、早期に整備を実施するよう請願いたします。

審査結果 採択

**◇国に対し「消費税5%以下への引き下げを求め**

**る意見書」の提出を求める請願**

提出者 新庄民主商工会

会長 安食 輝敏

消費税減税を国が決断することにより新型コロナウイルスの終息後も生活必需品など、消費税負担を軽減して国民の購買力を高める景気対策となります。住民の暮らし、地域経済、地方自治に深刻な打撃を与える消費税の5%以下への引き下げを強く求めるため請願いたします。

審査結果 継続協議

**◇安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのち**

**と健康を守るための意見書の提出についての陳情**

提出者 山形県医療労働組合連合会

執行委員長 渡辺 勇

今後予想される新たな感染症対策にも対応できるような医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと。地域の実情を踏まえ医療体制の充実を図ること。医師、看護師、医療技術職、介護職を大幅に増員すること。保健所の増設、保健師等の増員など公衆衛生行政の拡充を図ること。

審査結果 採択



# 村政を問い直す!

## 6名の議員が一般質問



一般質問とは、議員個人が村の事務執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を村長に求め、村が村民のために適切な村政運営を進めているかをチェックするもの。

- I 岡田 孝一議員 ..... 5p
  - 県管理河川の支障木伐採や土砂排せつについて
  - 最上地区広域連合について
- II 富樫 義人議員 ..... 6p
  - ▲ 空き家及び一人暮らし高齢者対策について
  - ▲ 子育て支援策として出生祝い金の更なる増額は
  - ▲ 若者定住促進支援策について
  - ▲ 戸沢村内のいじめ、児童虐待の実態は
- III 伊藤 一議員 ..... 7p
  - 鳥獣被害抑止及び野生動物との共生について
- IV 柿崎 英矢議員 ..... 8p
  - ◆ 戸沢村未来創造プロジェクト会議について
  - ◆ 人口減少問題の現状と対策について
- V 加藤 政一議員 ..... 9p
  - ★ 高齢者及び児童虐待等の具体的対応は
  - ★ 新型コロナウイルス感染症の初期対応と役場職員に感染者がでた場合の対応について
  - ★ 保育体制の課題と今後の保育行政の在り方について
- VI 阿部 光樹議員 ..... 10p
  - ▼ 職員体制の改善状況及び新規採用職員の勤務活動状況について
  - ▼ 鳥獣被害対策チラシの効果の是非及び有効な対策実施経過について
  - ▼ 戸沢村持家住宅整備補助金について

※灰色の見出しは、一般質問を行ったが掲載を割愛した質問です。

一般質問



岡田孝一 議員

**問** 村が要望した県管理河川の支障木伐採や土砂排せつ状況はどうなっているのか伺います。

**村長** 濁沢川の一部は今年度実施予定で、市の沢川については、濁沢川の進捗状況を見て検討することのこと。



河川支障木伐採等は

残りの田沢川は支障木伐採は予定されているが、野口川、角川同様河道掘削の予定はないと聞いています。

最上地区  
広域連合について

**問** 国保料は、最上地区広域連合の大事な財源です。それを納める義務をなくす不納欠損額が、戸沢村は欠損率1%、多いところで36%と構成町村間で差がありすぎます。不公平ではないか伺います。

**村長** 構成町村で不納欠損額に差があるのは事実です。法律や要綱に基づいており、制度として誤りではないが、欠損処理するまでの事務処理過程が異なるため、差が出ています。未収金徴収の取り組みについては、構成町村で行っています。本村については、税や料の公平性を確保しながら取り組んでいます。

**問** 構成町村で統一した不納欠損処分に対するマニュアルがない中で、どうやって不公平をなくすのか伺います。

**村長** 不納欠損処分検討委員会の設置が検討されています。最上地区広域連合の会議も予定されており、自分なりに発言していきます。

**問** 県が財政基盤の責任を持ち、保険料の統一の動きがあります。事務事業の見直しも検討されている中で、これからも最上地区広域連

合を組織していく意義は何か伺います。

**村長** 最上地区広域連合発足当時の考え方については、誤りではないと考えています。構成町村の収納に対する考え方が異なり、不納欠損額に差が出ているのは事実です。私も初めて詳細を知ったところです。

令和6年度以降、保険料(税)の統一が図られる予定でもあることから、施行される段階で、検討が必要なのは検討していきたい。

◆令和2年度 保険料の軽減について◆

1. 所得による保険料の軽減

※重要なお知らせ：その所得と異なる所得控除者(前年中の所得が、下記の所得控除基準額に該当する場合は、所得割額及び、所得割額が、7割・5割・3割の減額になります。)

＜減額判定基準表＞

令和2年度についても前年度に引き続き、5割・3割減額の判定基準が適用され、軽減内容は7割となります。

国民健康保険の被保険者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症の影響により、次の要件を満たす方は、**保険料が減免**となります。

令和2年度 保険料納期限・口座振替日一覧表

納期限	期別	納期限
第1期	令和2年 7月16日(木)	～ 令和2年 7月31日(金)
第2期	令和2年 8月16日(日)	～ 令和2年 8月31日(月)
第3期	令和2年 9月16日(水)	～ 令和2年 9月30日(木)
第4期	令和2年10月16日(金)	～ 令和2年11月 2日(日)
第5期	令和2年11月16日(月)	～ 令和2年11月30日(木)
第6期	令和2年12月16日(水)	～ 令和2年12月31日(金)
第7期	令和3年 1月16日(金)	～ 令和3年 1月31日(日)
第8期	令和3年 2月16日(日)	～ 令和3年 2月28日(水)

山形県国民健康保険被保険者証

有効期限 令和〇年〇月〇日

記号 番号 1234567

氏名 戸沢太郎

生年月日 昭和35年5月5日 性別 男

交付年月日 令和〇年〇月〇日

世帯主氏名 戸沢一郎

住所 戸沢村大字古口270

保険者番号 1234567 交付者名 山形県最上地区広域連合

一般質問



富樫義人 議員

増加傾向の空き家、一人暮らしの高齢者対策は

**問** 数年前から、どの地域においても、空き家や更地が目立ってきています。また、高齢者の一人暮らしも増えてきており、今後の村存続を心配する声があるが行政としてどう取り組むのか。

しない取り組みを行います。高齢者に対しては「地域包括ケアシステム」を構築し、高齢者に健康で長生きしていただき人口減少対策を合わせてスピード感を持って対応していきます。

出生祝い金の増額予定は

**問** 令和2年度の出生予定者は現在14人程度で、20人を切る状況にあります。子育て支援策として、出生祝



子育てサロン

い金を増額する予定はないか。

**村長** 子育て支援策として、出生祝い金の増額は一つの施策であり、現在の祝い金は決して高い金額ではない状況ですので、検討の余地はあろうかと思えます。ただ、出生しやすさ転出する方もいることから、出生時半額、1年後に住民票があれば残りの半額を支給するなど、一定程度の条件は必要かと思えます。今後、子育て支援住宅の建設や移住対策を絡めながら、検討してまいります。

若者定住支援策を講じる考えは

**問** 結婚者数を増やす目的として結婚祝い金を創設し若者定住を促進させる支援策を講じる考えはないか。

**村長** 結婚祝い金につきましては、結婚を祝福するという趣旨は理解いたしますが、結婚をして間もなく転出したり、残念ながら離婚することもあり支給する時期が難しいと思われれます。まずは新庄最上地域共同で実施している婚活実行委員会の取り組みなどを継続し、その中で結婚する方を増やせるよう努力してまいります。

戸沢村内のいじめ、児童虐待の状況は

**問** 山形県は宮崎県に次いで2番目にいじめが多いという点であります。現在の現状、また児童虐待について詳細を伺いたい。

**教育長** 本村においては令和元年度に小学校64件、中学校2件、今年度の調査では小学校42件、中学校1件となっております。現在これらの案件は継続的な事業ではなく、すべて解消されており不登校や自殺、自殺未遂などの重大事態につながる事案は1件もありません。

**村長** 児童虐待については命に係わる虐待は発生していません。認知している件数は令和元年度当初で11件、令和2年度当初で10件となっております。



# 鳥獣被害抑止、野生動物との共生

**問** 今年度県内において多くのクマの目撃情報やイノシシ、サルによる被害が確認されています。村内での野生動物の生息状況と今年度の有害鳥獣対策について伺います。

**村長** 戸沢村は最上川県立自然公園や今神山自然環境保全地域をはじめ、景観や動植物に恵まれております。山の恵みは生活の一部となっており、明治、大正期以後長らく絶滅したとされてきたイノシシやニホンジカが県内で急激に分布を回復しております。農業に対

する被害の増加、生態系に対する影響も懸念されます。サル、ツキノワグマが人の生活領域に出没する傾向を強めているとともに、農業被害や人と鳥獣の軋轢の増大が懸念されます。状況を踏まえ、希少な鳥獣について生息環境を良好な状態に保全する必要があります。加えて、人の生活と生態系とのバランスを失わせつつある鳥獣の個体数の増加や生息域の拡大を抑制することも生物多様性基本法に示されています。保全及び持続可能な利用の基本原則をはじめとする同

## 一般質問



伊藤 一 議員

法の趣旨を踏まえ、適正に保護管理を実施していくことが必要です。

村内で目撃、農作物の被害が確認されているイノシシなどの大型鳥獣は令和2年3月に通年の捕獲を可能とする許可期間が最長1年以内に変更されています。また、「戸沢村ニホンザル有害捕獲実施計画」を策定し捕獲許可を最長1年以内



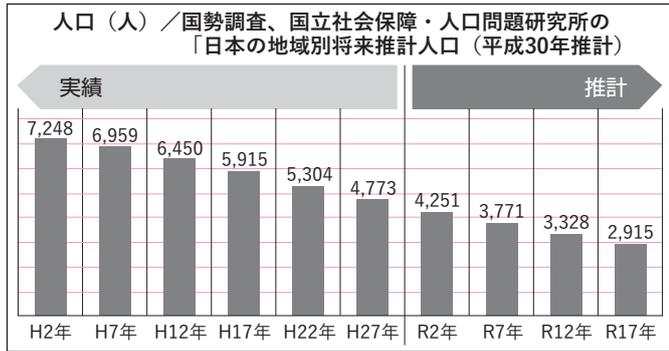
出没したサル

が必要となつてくると思われますが、今後の方針について伺います。

としました。今年度はクマの許可を14件、捕獲頭数はクマ6頭、イノシシ1頭、サル1頭となっております。被害軽減には農地や集落に近づかせない対策が主となります。産業振興課で対策チラシの作成と配布を行い、注意を喚起し、正しい方法を周知しました。

**問** 来春からの更なる対策

**村長** 里山の荒廃などで従来の捕獲や駆除方法ではクマなどを山に戻すことは難しくなっています。県や近隣自治体と歩調を合わせ、被害抑止と新たな森を形成するための山林管理を進めて行きたいと考えています。



**村長** 人口減少に歯止めをかけるための施策として、議員と職員で組織されたものです。関係各課が連携を図りながら戸沢村の施策を検討していく大変重要な会議と認識しています。

**問** 人口減少に歯止めがかかっていません。また、個人所得、ふるさと納税額ともに現在、県下最下位となっています。課題解消のため設置された当会議の重要性をどの様に考えているか伺います。

**副村長** 議員と村の関係各課が連携を図りながら、戸沢村の施策を検討していくことを目的としております。村の政策課題について優先順位を決めながら、多くの課題について、それぞれの立場で意見交換をしながら議論を進めていくことで、より良い方策が見いだせると考えています。

**問** 古口小学校跡地に土盛りし集合住宅を建設と村民から伺いましたが、議員の私より詳しいのはおかしなことと決定していかないことが噂されているのはいかがなものか。本当たしたら集合住宅の場合永住対策にならないと考えます。

**副村長** 議員と村の関係各課が連携を図りながら、戸沢村の施策を検討していくことを目的としております。村の政策課題について優先順位を決めながら、多くの課題について、それぞれの立場で意見交換をしながら議論を進めていくことで、より良い方策が見いだせると考えています。

**問** この会議の目的について伺います。

**村長** まだ、決まったわけではありません。現在、古口地区の方向で進めています。

**問** 時間はあります。誤った判断で村民の人的被害が起らないように安心安全を第一に考えて協議していただきたい。この会議の最終決定権はどの様に考えていますか。



平成30年豪雨災害(古口地区)

**村長** 事業所が減り、個人所得が減少することで消費が落ち込み地方交付税の減少も予想され、現行行っている行政サービスが提供できない状況になり、住民の負担が増大することが予想されます。

**問** 人口減少に伴い村経済に与える影響はどの様に考えているか伺います。

**村長** 未婚者、転出者も多く、人口を変動要因別に見ますと、人口減少が続いている状況となっています。

**問** 村の人口減少の動向とその要因について伺います。

**人口減少の要因と影響について**

戸沢村未来創造プロジェクト会議の趣旨は

一般質問



柿崎英矢 議員

# 高齢者・児童虐待への具体的な対応は

**問** 高齢者や児童虐待等に対し、具体的な対応は。

**村長** 高齢者虐待については、虐待者と高齢者を分離して生活していただく措置をとっています。児童虐待については、「戸沢村要保護児童地域対策協議会」で、県や児童相談所、警察、教育委員会、学校等々必要に応じ生活自立支援センターや保護司の方からも参加をいただき、ケース会議を開催し協議しています。

高齢者や、児童への虐待は村が通告を受けた段階で担当職員より安否と健康状

態を確認し、内部で方向性を定め、関係機関の参加によりケース会議を開催し、虐待への対応をしています。



## 一般質問



加藤政一 議員

**問** 有資格者を配置し、相談窓口一本化の考えは。

**健康福祉課長** 国の指針による相談窓口の一本化は時期早々ですが、何らかの形で有資格者を配置した相談窓口は考えていく必要があります。ただし、財政的措置が必要なので方向性として示しておきます。

**村長** 人的配置・財政的措置を伴うので、担当課、財政と相談し総合的に判断をして行きます。

## 新型コロナウイルス感染症対策は

**問** 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されます。新型コロナウイルス感染症の初期対応が変更されており、村としての対応と、職員に感染者が出た場合の対応は。

**村長** インフルエンザが流行する時期を迎え、11月1日より発熱症状などがある

場合には、受診する前に必ず電話で相談していただき、診療・検査が可能な医療機関を案内しています。相談先は、かかりつけ医、村健康福祉課、県受診相談センター、最上保険所に電話相談し指示に従い受診していただきます。

戸沢村中央診療所の対応は、新型コロナウイルスの感染が薄いと判断できる発熱の症状の場合は診療を行います。新型コロナウイルス感染症の受診、検査は通常と異なる対応・対策が必

要です。また、職員に感染者が出た場合は、「戸沢村役場新型コロナウイルス感染症に係る予防・対応マニュアル」により対応を定めています。それらに基づいて、その都度対応していきます。

**問** 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種がイギリスで開始され、日本で開始する際、有用性、安全性の情報を開示し接種を開始すべきと思うが村としての考えは。

**村長** 接種で万が一事故が起きた際、国が保障をします。優先順位を含め、具体的には未定で国の指導を受けて実施する事になります。

**健康福祉課長** 4月から、接種を受けるためのクーポンを配布し、摂取の体制を取ると、国から通知がきています。副作用も治験が進められており、国から説明があり次第、予算措置を含め検討します。



一般質問

職員の体制及び育成について



阿部光樹 議員

**問** 令和2年9月定例会で職員の体制・対応について、至らない点については補完してまいりたいと答弁いただきました。現在の改善状況を伺います。

業務を担当することは大変だと思えます。新規採用職員であればなおのこと大変だと思えます。

**村長** 病休、災害対応等で人員に不足が生じる場合は、臨時に会計年度任用職員をハローワークを通じて募集し、随時選考、採用し補充している状況にあります。

**問** 重要な業務の引継ぎができていないと混乱が生じ作業が遅れることが考えられます。未経験で違う課の



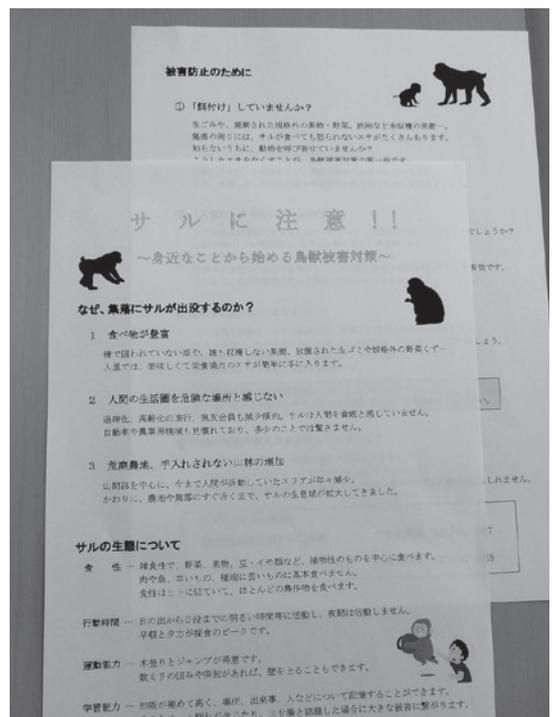
新規採用職員についてはもうすぐ1年になります。適切な指導は行われたのか、現在の勤務状況や仕事の活躍状況など、どうなのか伺います。

**村長** 庁内では4月に新規採用者と懇談会を開催し、総務課人事担当者より村の概要、行政の仕組み等を短時間ではありますが説明しました。対応としては十分かもしれませんが、それぞれの配属先で先輩職員より指導、助言を仰ぎながら成長、活躍しているものと考えます。

鳥獣被害対策、  
具体案は

**問** 鳥獣被害について対策チラシの成果はあったのか、他にも有効な対策ができたのかを伺います。

**村長** チラシを9月に全戸配布し、広報とざわ10月号にも掲載しました。野生動物は法律によって保護すべ



配布されたチラシ

き対象なので、誤って殺傷しないよう注意喚起も同時に行っています。「地域ぐるみで行う鳥獣被害対策支援事業」を活用し、実際に現地に専門家にお越しいただき住民を対象とした研修会を、令和3年度のモデル地区候補として、角川地区を申請しています。

和2年度は予定通り利用できない住民が多数いたと思います。着工前写真などの必要書類が揃っていれば着工後の申請でも可能にすることで、今まで以上に利用しやすくなると思いますが、何か対策を講ずる考えはないのか伺います。

戸沢村持家住宅  
整備補助金について

**問** 他市町にはない戸沢村独自の魅力ある行政サービスの一つだと思えます。令

**村長** 平成22年度からの事業として建築業を中心とした地域経済効果が図られました。令和2年度は9月補正により1200万円を計上しました。要綱に従い着工前に申請いただきますようお願いいたします。

議員 発議

12月定例会最終日の12月11日に、左記の決議が全会一致で可決されました。戸沢村議会は村民の皆様とともに、新型コロナウイルス感染症に関する諸課題に全力を挙げて取り組んでまいります。

現在、新型コロナウイルス感染症は、全国的に急速な感染拡大が進んでおり、12月に入り更に感染が拡大している状況です。その中であって、私たちは感染拡大の防止に細心の注意を払いながら、新しい生活様式の中で社会経済活動に取り組んでいます。

こうした状況の下、感染者やその家族、学校や勤務先等に対しSNS等の媒体による匿名での心ない誹謗中傷や、間違った情報の拡散、感染症に対する不安や恐れから感染者や感染経路を詮索す

る事例などが発生していることは憂慮すべきことです。

コロナ禍を契機として、お互いが疑心暗鬼となり、これまで長い間培ってきた信頼関係が失われていくことは絶対に避けなければなりません。

今、私たちが行なうべきことは、感染防止策の徹底であって感染者を誹謗中傷することではありません。今こそ、私たち一人ひとりが、共に支え合うことが何よりも大切なことです。

よって、本村議会は、村民とともに、新型コロナウイルス感染症に関する諸課題に全力を挙げて取り組み、誹謗中傷の根絶を目指すことをここに表明します。以上、決議する。

令和2年12月11日

戸沢村議会

議会日誌(10月~12月)

10月1日	第8回老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会	20日	新過疎法制定実現総決起大会・令和2年度定期総会
2日	最上広域市町村圏事務組合10月定例会・情報交換会	24日	議会運営委員会
4日	最上地方町村議会議長会	25日	県関係国会議員と町村議会議長との交流懇談会
10日	戸沢保育所運動会	26日	令和2年度町村議会議長行財政セミナー
10日	第20回戸沢村青少年健全育成村民フォーラム	27日	例月出納検査
12日	最上県懇話会例会	30日	議員全員協議会
14日	広報常任委員会	11月	第4回戸沢村未来創造プロジェクト会議
19日	最上地区広域連合協議運・全協	12月1日	TOZAWAツーリズム協議会
20日	令和2年度町村議会議員研修会	9日	そば焼酎新酒発表会
22日	議員全員協議会	10日	12月定例会本会議
23日	令和2年第5回臨時会	11日	各常任委員会所管事務調査
26日	例月出納検査	15日	12月定例会本会議
27日	令和2年度県市町村行政懇談会	17日	広報常任委員会
29日	最上地区広域連合10月定例会	18日	山形県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟・連絡協議会
11月5日	令和2年度舟形大蔵戸沢間道路整備促進期成同盟会現地調査会	18日	山形県町村議会議長会・自治振興研修会
7日	第37回町村議会広報研修会	21日	いきいきランドぼんぼ館リニューアルオープン祝賀会
16日	最上広域市町村圏事務組合創立50周年記念式典・謝恩会	22日	最上地区広域連合協議運・全協
17日	国道47号岩清水トンネル貫通式典	23日	最上県懇話会
	村有財産取扱説明会	25日	例月出納検査
	第19回「最上を拓く高規格道路」建設促進同盟会		最上地区広域連合12月定例会

# 地域の歳時記

## 御柴灯(おさいど) 沢内地区

沢内地区でおさいどが行われた様子です。漢字では御柴灯と書くようです。もともとは1月15日に行われていましたが、最近では日曜日に行われることが多くなっています。今年は大雪により会場の設営にご苦労された地区も多いのではないのでしょうか。



古くなった御札や正月飾りなどを焚き、無病息災を祈る新年の行事です。コロナウイルス感染症の終息を願った方も多いと思います。健やかな1年になることを願うばかりです。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

### 議会傍聴のお知らせ

次の定例会の予定は下記のとおりです。

**3月8日(月)から12日(金)**

本会議は、インターネットでもご覧いただけます。詳しくは議会事務局72-2113にお問い合わせください。

◎お越しの際は検温・マスク着用等の感染症予防対策をお願いします。



設計、施工業者への感謝状贈呈

### 表紙の言葉

令和2年12月18日、改修工事の為休業中のいきいきランドほんぼ館がリニューアルオープンしました。

砂風呂の砂の入れ替えや、サウナの新設など村民の声の一部も取り入れ、戸澤豚いちばん育ちの豚肉の利用、販売なども予定しています。

コロナ禍で大変ですが、村民の皆様も今まで以上に活用して下さい。

### 編集後記

令和2年は、新型コロナウイルスの問題や災害、数日続いたの大雪などで村民の皆様の生活や仕事、また、学校や企業にも影響がありました。これらにも負けない戸沢村民は、一人一人が自助共助の心を持っているから、人災もなく過ごしてきました。これからも、自分で考え行動し解決する自助の心、地域で共に助け合っ生活していく共助の心を持つことを、再認識していきましょう。きっとより良い戸沢村の未来が見えてくると思います。

議会広報委員長 阿部 光樹